

1. はじめに

シーニックバイウェイ北海道は、地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、個性的で活力ある地域づくり、景観づくり、魅力ある観光都市空間づくりを目指す取り組みです。平成17年よりスタート、2012年2月現在11の指定ルート、1つの候補ルートがあり、約350団体が活動をしています。

このようなシーニックバイウェイ北海道の活動を支援する組織として、シーニックバイウェイ支援センター（以下支援センターと略す）があります。支援センターの活動は、多岐にわたりますが、民間企業や地域住民と連携したツーリズムによる地域づくりについて幾つかを紹介します。（詳しくは、ホームページをご参照ください。<http://www.scenicbyway.jp/>）

2. 事業概要

○企業と連携したボランティアツーリズム

毎年、上富良野町を中心に高齢者世帯に札幌から除雪ボランティア「雪はね隊」を派遣しています。貸切バス料金は民間企業の寄付、食事代や保険料金はボランティア負担、受入地側の調整、昼食準備等は、地域の活動団体という役割分担で、すでに6年間継続しています。楽しみにしている地域の方もおられ、都市と地方の交流が少しずつ進んでいます。

このような活動を拡大展開するために、札幌市内の大学、民間企業などをメンバーとした「ボランティアツーリズム推進協議会設立準備会」を開催し、除雪以外の清掃や農業支援等にも、派遣できるような体制づくりをはじめています。

①シーニックバイウェイ北海道

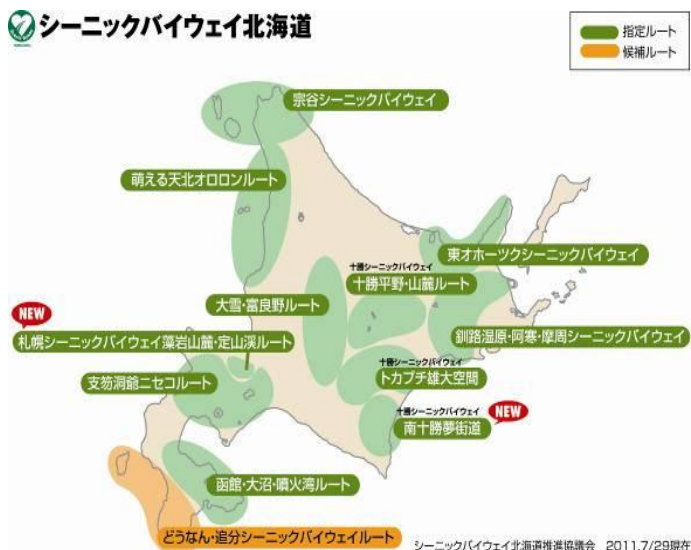


図1 シーニックバイウェイ北海道の各ルート

○ツーリズムによる地産地消の普及と消費拡大

北海道の「食」を育む大地、海、川の景観を楽しみながら、その環境から生まれる「食」を楽しむツアーを実施しています。農家、製粉工場、ワイン醸造所、チーズ工房などを訪れながら、「食」を育む自然環境や携わる人々との交流によって、道産食材への理解を深めて、消費拡大や認知の向上に繋げる試みです。すでに、道産小麦の消費拡大や、北海道のワイン&チーズの認知向上をテーマとしたツアーを実施しており、いずれも好評です。現在、旅行商品として定番化すべく、検討を重ねています。

○カーボンオフセット付きツアー

ドライブ観光を支援する一方で、旅行中に排出されるCO₂をできるだけ少なくするエコドライブの啓蒙と、それでも排出されるCO₂を「植樹」でオフセットする「シーニックの森事業」を行っています。シーニックバイウェイ支援センターが企画するツアーは、全てカーボンオフセット付きツアーです。レンタカー会社と連携したカーボンオフセット付きレンタカー等も実施し、地域の活動団体が管理する道内5箇所の「シーニックの森」に植樹されます。

3. おわりに

「ツーリズム」を手段として、地域づくりに活用することを進めていますが、課題も多いのが現状です。1つ、1つ課題を克服しながら、「観光」「ツーリズム」の経済効果以外の効果も明確していきたいと考えています。



図2 「雪はね隊」の除雪風景（上富良野町2012）



図3 麦畑での朝食
(道産小麦の消費拡大)



図4 シーニックの森への植樹風景